

地域とともにある学校 子ども応援団

| | | |
|---|-------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：玉緒小学校地域学校協働本部 | 玉緒小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：32人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

○生活科（1年・2年）「サツマイモを育てよう」

ボランティアの方が、畝づくりや苗植え、マルチシート張りを協力してくださり、1、2年の児童はボランティアの方のアドバイスを受けながら、苗植えや収穫の体験学習をすることができた。今年度は、数年ぶりに学校でサツマイモを試食することができ、自分たちで収穫したサツマイモをみんなで味わうことができた。



【 3年生 間引き体験 】

○家庭科（5年・6年）「ソーイング」

ミシンを使う学習では、事前にミシン一台一台の動作確認を丁寧にしてくださいました。学習当日には、各学級の一班に一人以上見てくださり、担任だけでは見切れないところを丁寧に教えてくださった。

○その他 ・図書室の環境整備 ・読み語り ・地域探検 ・登下校の見守り
・田んぼの学校 ・マラソン立哨

■ 実施に当たっての工夫

・昨年度までは、コロナ禍の影響で活動を見合わせたり縮小したりすることを余儀なくされていた。今年度は、今まで活動していたものを同じように継続するのではなく、回数を増やしたり、新たにできることを模索したりした。その中で、どのような事業がどの学年に必要なのかを考え、その都度地域コーディネーターと相談し、人材を見つけていただいた。

■ 事業の成果

・ボランティアの方との打合せでは、学習のねらいやご指導いただくポイントを確認のめりだけでなく、児童の思いや提案等も伝え、主体的な学習になるように打ち合わせをした。その結果、児童が発信したり、ボランティアの方と話し合ったり共同したりするような学習を実現することができた。
・回数を重ねるごとにボランティアさん同士も顔見知りになり、お互いに意見を出し合ってくださいの姿があった。また、ボランティアさんとの繋がりが増えることで、同じ方が違った内容でも助けてくださったり、新たな人材を教えてくださいと、前年度よりもボランティアの方の人数や参加回数が増えた。ボランティアさんの協力により、安全の確保や支援の必要な児童へのサポート等が充実し、本当にありがたく感じている。



【 5・6年生 家庭科の学習 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・今年度の取組を見直し、来年度以降も実現可能な活動を検討した上で、地域コーディネーターさんをはじめ、協力いただくボランティアの方に、早い段階でお知らせできるようにしていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

玉緒小学校HP <http://www2.higashiomi.ed.jp/tamasho/>



■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ 学年主任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

「必要な時に必要な支援を」を合言葉に、今後につながる継続した支援活動を！

| | | | |
|--|-------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名：御園小学校地域学校協働本部 | 御園小学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1 人 ボランティア登録数：25 人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

① 外国籍児童が全校児童のおよそ一割程度在籍しており、多くの児童が日本語指導教室（ひまわり学級）に通室している。外国籍児童を対象に、夏季休業・冬季休業期間に地域のコミュニティセンターで外国人児童への学習サポート活動を行っていただいた。また、勉強のあとには、みんなで遊んだりおやつを食べたり楽しくすごした。



【 外国籍児童学習サポート 】

② 郷土学習・学習支援

3年生の総合的な学習の時間「御園のじまんを調べよう」のゲストティーチャーや、2年生の生活科「まちたんけん」の校外活動の支援、5年生の家庭科「ミシンでソーイング」の活動補助など、多岐にわたって支援を受けている。

■ 実施に当たっての工夫

御園小学校地域学校協働本部では、「必要なときに必要な支援を！」を合言葉に事業を進めている。推進員と学校担当者が適宜連絡を取り合い、学校のニーズに応じて人材を発掘していただき支援を受けている。

■ 事業の成果

推進員の豊富な経験と人脈により、学校の希望に対して積極的にコーディネートしていただいている。多くの方にボランティアに来ていただくことで、学校の様子を地域の方々に知っていただけるよい機会となっている。また、子どもたちだけでなく、教職員が地域を知り、繋がる機会にもなっており、地域との関わりの大切さを感じた。



【 3年生 総合的な学習の時間
御園のじまんを調べよう 】

ボランティアの方の協力により、担任が個別に支援が必要な児童へのサポートにあたることができたり、地域の方々と子どもたちが気軽に話す機会となったり、充実した学びとなる取組となった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

今まで築き上げてきた地域ボランティアさんとの関係を切らせることなく、今後も地域との絆を深めていけるように働きかけていきたい。また、地域ボランティアとともに保護者にも様々な活動のサポートをお願いしながら、地域が一体となった活動を広めていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

東近江市立御園小学校ホームページ <http://www2.higashiomied.jp/misonosho/>

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（日本語指導担当教員）

報告書記入者（教頭）

輝け南っ子！！ ～地域を学ぶ、地域の人々と学ぶ～

| | | |
|---|---------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：八日市南小学校地域学校協働本部 | 八日市南小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成24年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：40人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・地域的に自治会組織が確立しておらず、コミュニティ・スクール実現については、検討が必要である。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- (1) 畑の先生による特別支援学級での植え付け作業（じゃがいも、さつまいも、大根）収穫
- (2) 芝生化されたグラウンドでの芝生刈りや水やり、施肥などのお世話
- (3) 南小学校読み語りグループによるスキルタイムでの読み語り
- (4) 大風保存会による大風作りの指導
- (5) 図書室壁面の飾り製作、飾り付け

■ 実施に当たっての工夫

- ・特別支援学級の畑では、地域の方が先にうねを作ったり、マルチをかけて植える準備をしてくださったりすることで、スムーズな植え付け作業ができた。
- ・図書壁面では、図書室で作業を行っていたため、休み時間などは児童が興味をもって側にきてくれたが、密を避けるため、会議室などの別室で作業をし、児童との動線も重ならないように工夫した。
- ・読み語りでは、ボランティアと児童との間隔を空けるために、自分の席に座り静かに聞くようにした。



【 特別支援学級 畑の学習 】

■ 事業の成果

- ・定期的な芝刈りなど適切な管理がされることで、常に快適な状態で授業が行われる。また、休み時間や放課後などにも子どもたちの生き生きと活動する姿が見られる。
- ・季節感あふれる壁面飾りにより、図書室に対する子どもたちの関心がさらに高まった。
- ・特別支援学級の子ども達が、畑の先生に対してお手紙や芋のツルで作ったリースのお礼や、感謝のお手紙を渡すなどつながりを深めている。



【 大風保存会と6年生大風あげ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・大風など、地域の皆様と協力しながら、徐々にではあるが、行事が実施できている。
- ・コロナが終わり、今後どのような行事を残し進めていくか、内容を精査しながら、関係機関と相談して取り組んでいきたい。
(市陸上記録会の指導や、地域学習、昔の暮らし、昔のあそびなど)

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・南部地区まちづくり協議会と連携しており、スムーズな活動ができている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（事務職員）

報告書記入者（教頭）

地域とつながり、地域とともに子どもを育てる学校づくり

| | | |
|---|---------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：八日市北小学校地域学校協働本部 | 八日市北小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：15人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 1年・・・昔遊び
- 3年・・・町たんけん 畑見学
- 4年・・・いきものの森での活動
- 5年・・・田植え 稲刈り ミシン補助
- 6年・・・キャリア教育 ミシン補助
- 全校・・・読み聞かせ マラソン大会立哨



【 6年 夢訪問（理容師） 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・昨年度まで、読書ボランティアがなかったこともあり、学校だより等を通じてボランティアの募集を行った。ボランティア名簿を地域コーディネーターと共有し、必要に応じて活用してもらえるようにした。

■ 事業の成果

- ・6年生の「夢訪問」で、子どもたちは仕事の道具を見せていただいたり、実演しておられる様子を見たりして、大変興味深く学習に取り組めた。いろいろな職業のプロに来ていただくことにより、今後自分がどのようなことを頑張ればいいのか、将来に向けて今の自分を見つめるとともに、職業に対する夢を膨らませることができた。
- ・今年度より、読書の時間を設けたが、楽しくいろいろな本を紹介して下さることで、読書の幅が広がるのではないかと今後も期待している。
- ・マラソン大会など、地域の方が見守ってくださっているおかげで、安心して大会の運営ができています。と同時に、声援が子どもたちへの大きな励みになっている。



【 読み聞かせ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今年度からボランティアの募集を行いミシン補助や読み聞かせに来ていただいているが、地域コーディネーターを通して時間を要するため教頭または担任が連絡調整をしている状況である。まだまだ組織として成り立っていない。
- ・6年生の「夢訪問」については、毎年ゲストティーチャーをお願いしている方もあり、恒例行事として定着しつつあるが、十分に謝礼を払うことができず、材料費などで負担をかけてしまうこともあり心苦しく感じている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校行事がコロナ禍前に戻った今、地域の力をより生かした活動を多く取り入れていきたい。しかしながら、地域の物的、人的資源がまだまだ生かしていない状況なので、地域の良さや強みをどんどん見つけていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（担任）

報告書記入者（教頭）

地域の力を学校へ！ ともにあゆむ「布引っ子応援団」

| | | | |
|--|-------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名：布引小学校地域学校協働本部 | 布引小学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：37人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他〔 〕 | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 通年 ボランティア読み聞かせ、校外活動引率支援、スクールガード活動支援、教育環境整備
- 4～5月 5年「田んぼの学校」実施計画・打合せ・田植え
 - 6月 5年「田んぼの学校」田んぼの生物観察学習補助
 - 6～7月 3年「まちたんけん」講師・郷土学習の補助
 - 8～9月 5年「田んぼの学校」打合せ・稲刈り・脱穀作業
 - 11月 マラソン大会 マラソンコースにて監視補助
 - 12月 5年「田んぼの学校」まとめ学習発表会
 - 1月 6年キャリア教育 地域の先輩に学ぶ
 - 1月 1年昔の遊び体験



【 3年 町探検 】

■ 実施に当たっての工夫

- 地域学校協働活動推進員がスクールガードを兼ねていることもあり、学校へ毎日来てくださり、教員との円滑な打合せを進めることができた。
- 学校だよりやHP等で、地域と学校が連携・協働している事例を取りあげて保護者や地域へ周知を行った。
- 地域学校協働活動推進員と教職員が密に連絡を取り合うことで、必要に応じて学習支援や監視補助など、随時対応してもらうことができた。

■ 事業の成果

校外学習や地域学習の相談をすることで、教材の発掘や講師の依頼など状況に応じた対応をしていただき、読書活動や郷土学習、キャリア学習等、充実した学習ができた。地域にも学校ボランティア活動が周知されており、地域学校協働活動推進委員を通して学校からの要望に多数応えていただいた。

また校内マラソン大会では、本番だけでなく練習時からコースの見守りをしていただき、大変ありがたかった。学校教育環境整備にも毎年ご尽力いただいている。本年度も掲示板や棚の制作など、教職員や子どもたちにとって過ごしやすい学習環境を整えてくださっている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 支援ボランティアの継続性のために名簿等を作成して、校内での引き継ぎを確実に行う。
- 広い校地の学習環境の整備のため、引き続き施設メンテナンス型のボランティアの充実を模索していく。
- 地域学校協働本部の活動について地域や保護者への広報活動をさらに充実させる。



【 5年 稲刈り 】

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

～地域の自然・人材を生かし、主体が起きて学ぶ山小っ子を目指して～

| | | | |
|---|--------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名： 山上小学校地域学校協働本部 | 山上小学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：24人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

【3年生 総合的な学習の時間(親子活動) 「森っ子スクール」】

地域の木材製板や枝等を使いネームプレートを作った。山上小学校振興会と相谷町里山会から多くの方がボランティアとして指導に関わってくださった。日頃できない体験だったが、楽しく充実した活動になった。

【4年生 総合的な学習の時間 「地域学習：千草街道を歩く」】

『わたしたちの東近江市』にも掲載されており、織田信長も関係していると言われる「千草街道」と「馬つなぎの松」を、歴史に詳しいボランティアさん達に案内していただきながら歩いた。針葉樹や広葉樹が豊かに育つ山中を気持ちよく歩く体験ができた。市原小学校との交流もあり、またやまのこ学習とのつながりの上でも充実した学習となった。



【4年生 地域学習の様子】

【5年生 総合的な学習の時間「愛知川生き物調査」】

愛知川清流会の方にご協力いただき、学校の近くを流れる愛知川で生き物調査、和南川で魚類調べを行った。水生生物や魚類、水の透視度の調査等と関連づけて、郷土を流れる川の水質と生態系について学習を深めた。また、うみのこ学習とのつながりの上でも充実した学習となった。

【6年生 総合的な学習の時間 国語科 地域学習】

国語科での地域の魅力発信の学習において、地域で活躍されている方にお話をしていただいた。また、子どもたちのニーズに合わせた地域の方と関わりが持てるようにした。

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアの方には、子どもたちの学習について詳しく伝え、子どもたちが主体的に考えるきっかけになるように配慮していただいた。
- ・コーディネーターが授業に幾度か参加し、コーディネーターの立場で支援できることを担任と協議しながら行った。

■ 事業の成果

- ・地域を教材にして学ぶ子どもの姿から、意欲的・主体的な様子が見られた。本物に触れ、実体験を重ねていくことで、実感の伴った理解や、追及していくきっかけを見つけることができた。
- ・地域の自然環境や人材を活用し、学校教育活動の中に地域の力を生かす機会を持たた。
- ・ボランティアの方々の経験や知識を生かした活動を展開していくことで、その方々にとっても自分を生かす場となり、活発な地域づくりにつながる活動になった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域の優れた人材をどのように学校教育と結び付けていったらいいのか、地域に出ていくことで学習の質が向上する内容ほどのようなものがあるのかアンテナを張っていかないといけない。
- ・ボランティアの方の高齢化を考え、常に新たな人を見つける工夫をしていく必要がある。
- ・教職員が忙しいこともあり、教科書の内容に地域教材を加味していく発想があまり持っていない。次年度夏季研修会を企画していただき、地域コーディネーターからの情報を提供し、共有できるようにしていく。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

山上小学校HP：<http://www2.higashiomi.ed.jp/yamasho/>

■ コーディネーターと協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

【地域の方に支えられて、地域と共に学ぶ学校】～学校・地域・家庭のつながりをめざして～

| | | | |
|---|-------------------|--------|---|
| 東近江市 | 活動名：五個荘小学校域学校協働本部 | 五個荘小学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：26人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ ともも円卓会議について
- ・ 引き渡し訓練について
- ・ 家庭教育支援について
- ・ おさがりおゆずり会について
- ・ 学校行事（運動会）の支援について
- ・ 夏休み勉強会について
- ・ 子育てサロンについて

■ 地域と学校が協働した活動（【五個荘地区ともも円卓会議】）

・ 本校学校運営協議会、五個荘中学校学校運営協議会、五個荘地区まちづくり協議会の三者が共通の主催者となり、「五個荘地区で住み続けたいと思えるまちづくり」と「子どもたちの未来を育むためにできる地域での教育活動の方向性」を参加者で協議する「五個荘地区ともも円卓会議」を開催した。グループに分かれ、五個荘地区がもつ素晴らしい教育資源等をふり返るとともに、参加者一人ひとりの地域への熱い思いをベースに、子どもたちを支える活動はどんなもので、どう具現化していくのかについて協議をした。参加者の姿や感想からも五個荘地区への愛情と将来を担う子どもたちのために、懸命に知恵を出し語り合う大人の本気を感じることができた。



【 ともも円卓会議での熟議 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 学校運営協議会の委員が各グループに入り、協議が円滑になるように工夫した。
- ・ 参加者が各グループで思い描いたアイデアを「どのようにすれば実現できるか」や「いつまでに何をすればよいのか」という実効性のあるものにするために、ファシリテーターのサポートを得ながら実施した。

■ 事業の成果

- ・ 年々、地域の方が学校の教育活動に参画・協働する姿が充実してきていると感じている。多様な委員の参画で本校学校運営協議会が立ち上がり数年経ったが、年々取組も深まりをみせている。学校に福祉的な機能を持たせるためにスタートした「おさがりおゆずり会」等も、保護者にも定着してきている。



【 ボランティア交流会 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ コロナ禍を超え、今年度は様々な活動が動き出したため、学校現場の慌ただしさも相当なものであった。子どもたちのウェルビーイングの実現のためには、教師のウェルビーイング達成が大前提である。そのためにも、例えば、「働き方改革」に資する地域学校協働活動を仕組む等の視点で、学校運営協議会や地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が軸となり、学校・地域・家庭がつながりをもちながら子ども達の未来を育んでいくことを目指していきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・ 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が本校学校運営協議会の委員であるため、学校運営協議会で協議されたことを実行するための調整等がスムーズに進んでいる。
- ・ 本校学校運営協議会委員の役職等（市教育委員、市議会議員、保護者、社会教育委員、地域学校協働活動推進員、市スポーツ推進員等、多様な立場の方が委嘱を受け、本校学校運営協議会委員として活動）

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 教務主任・各教職員 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域の教育力を結集し、「地域と共に歩む学校」をめざして

| | | | |
|---|--------------------|--------|---|
| 東近江市 | 活動名：愛東北小学校地域学校協働本部 | 愛東北小学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：38人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

① 読み語り活動

本校では、読書ボランティアの方によって行っている。全学年を対象にした読み語りがあり、毎月1回、朝の始業前にある。子どもたちは、ボランティアの方による読み読みの日を心待ちにしており、朝、当番が控え室に迎えに来る。本や絵本や紙芝居など、工夫した読み語りをしていただいている。読み読みの後、ボランティアの方々と交流の時間をもち、お互いの工夫点などを学び合い、常に良いものにしていただいている。



【 全校読み聞かせ 】

② 5年生「たんぼのこ」体験学習

本校は、NPO法人「茗荷村」、集落の農業法人、ボランティアグループ等の方々の協力を得て、「たんぼのこ」の学習が進められている。

農村地域であっても、最近では農業体験が少なくなっている中、この体験は貴重な学習の場となっている。田植え・稲刈りはもちろんのこと、稲の生長を観察する学習を通して、米作りの苦勞と喜びを味わうことができた。お米の収穫後には、「感謝の集い」を開き、ご協力いただいたボランティアの方を招いて学習の成果を発表し、収穫の喜びと感謝の気持ちを実感する機会を持った。



【 たんぼのこ・稲刈り 】

泥だらけになった田植えや上手に鎌が使えた稲刈りなど、よい体験ができた。

③ 3年生の町探検学習への支援・補助

社会科の学習として、自分たちの住む地域を知る町探検に出かける。学級担任だけでは地域の歴史や文化について十分な指導が行き届きにくく、児童の学習効率や安全面での留意を図るための手立てが必要となる。そこで、ボランティアを募り、地域の歴史をよく知る方に協力いただき、それぞれの場所で歴史的な側面から地域の成り立ちなどについて学習ができた。子どもたちとボランティアの方と和やかな交流ができ、子どもたちの充実した表情が見られた。

■ 実施に当たっての工夫

- ・関わっていただく地域の方々と学校との、お互いの負担にならない適度な距離感を保つように努めている。
- ・学校への地域住民の関心や思いが高まるよう、ボランティアの人数が増えるように努めている。
- ・コロナ感染防止対策は緩和の方向ながら、読書ボランティアの方には、ご協力いただき、検温、体調管理、手指消毒、マスク着用等の各自での対策をお願いしている。（アクリル板は設置しない。）

■ 事業の成果

- ・ボランティアの支援により児童の学習効果が上がり、学習への励みになっている。
- ・子どもたちが地域の方と交流する中で、学校外での出会いやつながりの輪が広がっているように思われる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子どもたちの学習を充実するため、学校と地域コーディネーターの連携を、さらに密にするよう努める。
- ・効果的な活用を進めるために、地域の人材バンクの策定や人材発掘を図るようアンテナを高くしていく。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・当本部では、学校の依頼に対し、情報などを集約的に持っておられる所への協力依頼を第一歩としている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ 学級担任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域の力を集めて育てる子どもたち

| | | | |
|---|---------------------|-----------------|--|
| 東近江市 | 活動名：湖東第一小学校地域学校協働本部 | 湖東第一小学校 学校運営協議会 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他〔夏休み子どもの居場所作り〕 | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

★「昼休みお話し会」の開催

朝読書に加えて、ボランティア有志による拡大版読み聞かせ「昼休みお話し会」が、夏と秋に2回開催された。読書ボランティアからの発案で、計画、準備、実施とすべてボランティアの皆さんの手で行われた。教育課程編成上、読書の時間の制約がある中で本に親しむ時間を確保し、読書好きを増やしたいという願いから始まった。第1回はテーマを「夏」、第2回は「ハローウィン」と決め、本の選定は勿論のこと、会場となる会議室の飾りなども工夫して取り組まれた。読み聞かせを中心にして、素話、ブラックシアター、手話で歌、手品と多様な内容が盛りこまれた。昼休みの時間帯で自由参加にも関わらずたくさん子どもたちが集り、お話し会を楽しんだ。



【ボランティアの昼休みお話し会】

★夏休み期間中の子どもの居場所作り（地域学童保育開催）

湖東中学校校区3小学校の地域コーディネーターが中心となり2週間にわたり夏の居場所作りとして取り組んだ。子どもの見守り役をはじめやゲストティーチャーを地域の人々から募り、木工教室、革細工教室、昔の遊び体験などを日替わりメニューで計画し、子どもたちが日頃できない体験を準備した。

★地域学習と夏休み湖東地区見学会

湖東地区では、6年生国語科「まちの未来を考える」を小学校での地域学習の総決算として位置づけ、地域を知り、自分たちのまちの未来を考える学習として地域コーディネーターの積極的な支援の下で発展的に取り組んでいる。また、この学習の事前学習として、参加者を募って湖東地区の良さを体験的に知ってもらうための夏休み校外学習も行っている。本年度は地区内にある「サントリーフラワーズ」「クレフィール湖東」そして農地とつながりが深い「永源寺ダム」で現地見学学習会を行った。



【地区の魅力を探るクレフィール湖東見学】

■ 実施に当たっての工夫

- ・湖東中学校校区の地域コーディネーターが絶えず連携して情報交換し、計画や立案、地域の協力や支援を得て、夏の居場所作りや地域学習の支援に取り組んだ。
- ・地域学習の協力を得るために、地元企業や関係機関および協力者との連絡や打ち合わせをていねいに行った。
- ・「まちの未来を考える」の学習に当たっては、学んだこと、考えたことを返す場としてゲストティーチャーへの報告会までを企画した。

■ 事業の成果

- ・読書ボランティアの皆さんによる自発的なお話し会が学校側の負担なく開催できた。集まった子どもたちはお話しを熱心に聞き入り、本の世界を楽しむことができた。
- ・夏休み中の2週間と期間限定ながら子どもの居場所作りができ、保護者に「子どもの安全と安心の場」が提供できた。また子どもたちにとっても普段の学校や家庭ではできない体験や活動ができたり、新しい友達ができたりと収穫多い夏休みを過ごすことができた。
- ・毎年のPTA環境整備作業・グラウンド除草については、昨年度本校のグラウンドが芝生化され、植え付け以降その維持管理は地元の少年サッカークラブに協力を得ている。従来地域の方々にもボランティアを募る一大行事だったが、芝生化と地域団体の協力でグラウンド作業について省力化が図れた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

6年生国語科「まちの未来を考える」をきっかけとした地域学習は、国語科の教科書の単元に加えて、総合的な学習の時間ともリンクしての学習であった。また6年間の生活科や社会科の地域学習の総まとめとしての意義がある内容でもあったが、来年度以降の教科書にこの単元がなくなり、時間の制約や内容の軽減が心配される。少子高齢化が進む中で地域に生きる主体性を持った子どもたちが育てるためにも今後も大事に取り組みたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（湖東中学校区内の地域コーディネーター）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

地域で育てよう！ いきいき湖二っ子

| | | |
|--|---------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：湖東第二小学校地域学校協働本部 | 湖東第二小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員：1人（兼務1人） ボランティア登録数：38人 ■学習支援員を配置した学習支援 ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによる町づくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校 学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

① 「ボンぼんの会」による読み聞かせボランティア

毎月第2火曜日の朝読書の時間に、絵本の読み聞かせに来ていただいております。10年以上継続している取組である。紙芝居による読み聞かせや季節に応じた選書を工夫していただき、子どもたちは大変楽しみにしている。



【1、2年 計算ボランティア】

② 総合的な学習や生活科での地域学習

「ふるさと学習」として、地域の特色ある場所や偉人、働く人などについてお話をいただいたり、また、地域の施設を見学に行ったりさせていただいた。1月には「ふるさと学習発表会」を開催し、児童はこの学習で学んだことを他学年の児童や保護者に向けて発表した。

③ 学習支援ボランティア

11月に低学年の計算（たし算、ひき算、九九）の定着のための計算ボランティアや家庭科のミシンを使った裁縫の支援ボランティアを地域の方に呼びかけ、協力いただいた。また、一学期の音楽会に向けて、器楽演奏の支援や合唱のピアノ伴奏を協力いただいた。



【3年生地域のお仕事体験】

④ スクールガード

今年度は39名の方に児童の登下校の見守りをお願いしている。スクールガードの半数はPTAであるが、仕事をされている方も多いため、毎日当番制で下校の見守りをしてくださる地域もある。

■ 実施に当たっての工夫

各教科等のねらいを確かめ、行事や特別活動、生活科や総合的な学習の時間との関連を見直しながら、授業時数の精査や発展的な学習活動に取り組んでいる。（例：3年総合の地域学習での大工さん体験と図工科の木工作品作り）

■ 事業の成果

① 学習支援ボランティア

- ・保護者、地域の学校理解が深まり、学校・地域相互の様子についても交流をすることができ、開かれた学校づくりの一端となっている。
- ・地域のボランティアの方々は、子どもたちとつながることによって、エネルギーをもらえると喜んでくださっており、複数のボランティアに参加してくださる方もおられる。また、数年にわたって協力いただいている方の中には、児童の名前や性格などをよく理解してくださっている方もおられ、個々の児童に応じた声かけや関わりをしてくださっている。

② ゲストティーチャー

- ・学習ニーズに合わせて、専門的な知識や技能を持っておられるゲストティーチャーを積極的に招くことで、教育効果が高められた。地域の方も、子どもたちに少しでもふるさとのことを学んでもらおうと、丁寧に指導してくださっている。
- ・地域で学ぶ、地域を学ぶ「ふるさと学習」が推進され、地域との結びつきが強くなり、子どもたちに郷土愛が培われている。

③ 環境ボランティア

- ・9月のPTA環境整備作業の日に合わせて、環境整備ボランティアを募っている。前庭の松等の剪定や校舎周辺の草刈りをしてくださり、校地内の美しい環境整備への支援をしていただいている。

④ 地域とともにある学校づくり

- ・学校評価の保護者アンケートでは、「学校は地域学習や体験学習に取り組んでいる」という項目に対し、95%の方が肯定的な回答をしている。これは、地域の方が主体的に学校支援に向けて取り組んでくださったことにより、地域学習（ふるさと学習）を充実させることができたからだと考える。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・年度末に地域コーディネーターと地域学習の内容の精選をしたり、校外での学習時期の調整をしながら年間計画を見直したりし、次年度に誰が担任になってもスムーズに連携できるような記録を残していく必要がある。
- ・ボランティアの方との連絡調整や地域の情報提供等が過重負担にならないように、地域コーディネーターの複数配置についても検討していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教員 ■その他（教務主任）

報告書記入者（教頭）

「変貌する地域再発見」と「まちづくり」を意識した活動へ

| | | |
|--|---------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：湖東第三小学校地域学校協働本部 | 湖東第三小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員：1人 ボランティア登録数：26人 <input type="checkbox"/> 学習支援員を配置した学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによる町づくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他〔キャリア教育・平和学習・地域学習など〕 | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- まち協歴史文化プロジェクトと連携して、2年生の生活科「まちたんけん」3年生の社会科「地域学習」において、より広がりや深みを持たせた。コーディネーターも積極的にその方針に参画して、昔の生活『愛知井を辿る』を意識した「まちたんけん」とした。
- 本年度も読書ボランティアグループ『あめんぼ』が定期的に学校に集まり、パネルシアターや紙芝居の制作、稽古・打合せを実施する等、熱心な取組状況である。昼休みに定期的に発表活動をしている。『朝読書』には、一般の読書ボランティアも巻き込んで、毎月の「読み語り」も実施した。昼休みの「お話会」はコロナ以降、今年も学年単位で実施するように工夫した。
- 1年生の生活科「秋みつけ」で、今年も「すこやかなの杜グランドゴルフ場」の全面的な協力を得て、工作指導等もお世話いただき、今年も深みと広がりのある活動になった。ドンブリもたくさん拾うことができ、植樹体験もできて、満足感も大きい。
- 2年生では、今年も清水芋（里芋）掘りが実現できた。掘り起こした芋は、すべて自分たちが持ち帰るといふことが、楽しみをさらに深めた。子芋をはがす作業を楽しめた。
- 6年生では、今年も湖東地区小中学校のコーディネーターが互いに連携して、6年生教材「町の未来を考えよう」に関して、総合的な学習の時間に発展させる取組を行った。小学校ごとにプレゼン発表を試みた。5年生に対するプレゼン大会をすることで、次年度への接続を考えた。



【4年生：お話会】



【1年生：秋みつけ】

■ 実施に当たっての工夫

- 2年生のまちたんけん体験学習として、今年も、この地の特産である『清水芋（里芋）』掘りの体験ができた。「植える体験」と「掘る体験」を2回に亘って協力していただき、貴重な体験となった。
- 地域コーディネーター通信を、今年度も月刊で発行した。（通算で85号/1月末で）

■ 事業の成果

- 読書ボランティアやその他のボランティア等が、絡みあって複数の活動へと広がりを見せた。3年生昔の生活学習にも生かされた。
- 担任とコーディネーターが連携することに加え、「まち協」歴史文化プロジェクト・子育て支援PJとの連携も継続した。特に、夏休みの「湖東再発見」多賀でアケボノゾウと天体観測を体験しようの広がりも継続した。
- 1年生の生活科「秋みつけ」では、「湖東地区グランドゴルフ連盟」のスタッフ交代に伴い連携がさらに深まった。
- 『愛知井とともに』を発行し続けている成果として、地域とのつながりがより深くなっている。
- 湖東地区のコーディネーターが連携して、6年生の教材「町の未来を考えよう（国語科）」を手がかりに、実際の「町作り」への提言を行う等、コミュニティースクールへの連続性が生まれてきた。その一環として、各コーディネーターがゲストティーチャーとしても加わった。しかし、来年度から国語で、この教材が消えることが悔やまれる。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- コーディネーターと各担任との連絡調整を行うには、放課後のわずかな時間しかない。限られた時間内で、効果的な学習となるような仕掛けとヒントを共有できるようにするためには、工夫と検討がさらに必要である。年次を追って慌ただしくなる現場では切実である。

■ その他

- 「まち協」子育て支援プロジェクト・歴史文化プロジェクトとの連携も模索した。
- 「まち探検」の実施において、『（一社）湖東まちづくり』のバスが利用できる便宜を図ってもらえると、教育効率も格段に高まり、問題意識の定着（湖東地区が扇状地であることの検証・押立地区との文化的違いなど）にも意義があると思われる。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教員 その他（各担任）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

子どもたちにとって安心・安全な居場所づくりをめざして～人とのかかわりを大切に～

| | | |
|---|---------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：能登川東小学校地域学校協働本部 | 能登川東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：平成 27 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：80人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・地域支援が充実しているものの、高齢者世代と子育て世代がほとんどである。その間の世代も校区の地域力を高める柱の一つとなるようにしたいが何か必要か。
- ・数年にわたる新型コロナウイルス感染症による制限もあり、地域との関係や人と人との関係が希薄になってきている。人とつながる力、かかわる力を育てるためにも、地域の人とともに活動することが必要である。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

【環境整備】

ボランティアさんからの提案で、校舎内外の環境整備を行っている。例年に引き続き、ミシンのメンテナンスを行った。また、家庭科室使用前の清掃・準備をした。

【学習支援】

図画工作科での電動のこぎりや家庭科でのミシンを使う作業や家庭科の調理実習において学習支援を行った。機械操作や電気調理器を使う作業で多くの人が支援することにより、子どもたちが安全に活動できるようにした。

【ゲストティーチャー】

人から直接学ぶ学習や交流体験学習を大切にしている。2年生では生活科の学習でボランティアの方に野菜の苗の植え方を教えてもらった。また、6年生では能体験学習を行い、地域の方から伝統文化を学んだ。実際に面を見つけてもらったり、目の前で演じてもらったりして、貴重な体験となった。3年生では地域で働く農家の方からお話を直接していただき、自分の住む地域の農業の様子を学ぶことができた。



【 野菜の苗の植え方 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・年度当初に各学年と打合せを行い、1年間の見通しをもって、計画的に活動できるようにしている。
- ・推進員のネットワークやボランティアさんとのつながりを活用しながら、学校支援の輪を広げるとともに、お互いの交流を大切にしている。

■ 事業の成果

- ・今年度も、新たに登録して下さったボランティアさんもあり、活発に活動できた。コロナ禍でこれまでできなかった活動ができるようになり、地域の方とたくさん関わりがもてるようになってきた。これからもできるかかわりを考え、子どもたちにとっての安心・安全な居場所づくりをしていきたい。



【 実際の農場見学・収穫体験 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校がめざす子ども像との関連を明確にし、そのために教育活動の中にどのように位置づけ、活用・運用していくかの熟議が必要。
- ・学校をさらにオープンにし、家庭・地域との風通しをよくし、「連携」「つながり」を大事にしたい。
- ・人から学ぶことを大切に、人とかかわる力・つながる力をつけたい。（教師も）

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域に感謝 子ども応援隊

| | | |
|--|---------------------|---|
| 東近江市 | 活動名：能登川南小学校地域学校協働本部 | 能登川南小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：158人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

（1）「猪子山活動」

本校は、猪子山の麓にあることからこの里山を身近な教材として、全学年が年間を通して、下記のねらいのもと活動に取り組んでいる。

- ・四季折々の美しさを見せる猪子山に関わることで郷土の自然の豊かさを体感し、身近な自然を愛する態度を養う。
- ・仲間とともに活動することで、思いやりや助け合いの心を養う。
- ・活動を支援してくださっている方々への感謝の気持ちを養う。

活動には、保護者を含め地域のボランティア、外部講師、地域の有識者等、たくさんの方々が関わってくださっている。



【 猪子山活動 】

（2）「車いす体験」

本校5年生は、「総合的な学習」の時間の中で「車いす体験」を行っている。児童が車いすを押したり、乗ったりする体験を通して、障がいのある方やそのサポートを行う方の気持ちを共感的に理解し、望ましい行動について考えることができるようにと、地域ボランティアの力を借りながら実施している。



【 車いす体験 】

■ 実施に当たっての工夫

猪子山活動は、本校の環境教育（エコ・スクール）の中心となる活動である。全校24の縦割り班をさらに2分し、ボランティアの数も増やして安全に活動できるように工夫し実施した。そのためボランティア一人当たりの児童数も少なくなり、目が行き届き児童を把握しやすくなり、児童の安全確保ができた。

■ 事業の成果

今年度は、コロナ5類感染症移行になり、地域の方とともに活動する機会も増えた。芝生管理作業や各学年の地域学習への協力・参加、および安全確保に関する取組等をしてくださる地域の方々の姿を見て、子どもたちは感謝の気持ちを深めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域ボランティアの高齢化に伴い新規ボランティアの募集、組織の充実（学生ボランティア、民生委員等）課題である。
- ・いかに地域と連携した活動を取り入れ学習効果をあげるか。また、新たな連携・協働の在り方を探っていく必要がある。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（各活動担当）

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

地域と共に歩む学校「くりみのこ」

| | | |
|---|---------------------|-----------------------|
| 東近江市 | 活動名：能登川北小学校地域学校協働本部 | 能登川北小学校 学校運営協議会：■有 □無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1 人 ボランティア登録数：33 人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他（ 学区地域教育協議会 ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

今まで行ってきた事業をふまえて、年度初めにどのように連携していけばいいのかを話し合った。
地域と家庭と学校で、どんな子どもを育てていきたいかを共有することが大切であると確認した。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

大きなかぶ La さんによる読書活動「読み聞かせ」「ちょっと豪華なお話会」
学習ボランティアによる支援「ハウス栽培の整備やノウハウ」
「裁縫やミシン」「米作り」
環境ボランティアによる校地内整備「剪定」「草刈り」
安全ボランティアによる見守り「登下校」
学区地域教育協議会、体育振興会、PTAの協力による「くりみフェスタ」開催



【 田植え体験 】

■ 実施に当たっての工夫

PTA活動と協同し、剪定・除草作業を行った。
また、PTA活動だけでは手に負えない剪定・除草作業も定期的に担った。

■ 事業の成果

ボランティアの顔合わせの場を設けたことで、年間の活動の見通しがもて連携しやすくなった。
多くの方が登録していただいたおかげで、児童の安全確保、役員や職員の負担軽減につながった。



【 ちょっと豪華なお話会 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

児童の人数の減少に伴い、保護者（PTA）の人数も減る中で、地域の協力が
必要不可欠になってくる。そのための話し合いも必要となる。
素早い連絡・応答ができるように、コドモン（学校配信メール）への登録をお願いする。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

能登川北小学校 110 周年に向けて、準備を進める。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ 担任、事務 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

蒲生の子は蒲生で守り育てよう。地域の教育力を結集し蒲生東小学校を支援しよう。

| | | |
|---|--------------------|--|
| 東近江市 | 活動名：蒲生東小学校地域学校協働本部 | 蒲生東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：17人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

- 学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等
行政 その他（ボランティアグループ三弓会）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

コミュニティ・スクールを昨年度より導入し、各委員がそれぞれの分野で意見交流を行い、子どもたちにつけたい力について熟議をすすめた。今年は「人をつなぐ」「地域をつなぐ」ことについて熟議をすすめ、「防災」を窓口に何かできないか意見交流を進めているところである。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

「生活科」や「社会科」「理科」「総合的な学習の時間」などで、地域教材を生かしたり、体験活動をもとにして学んだりする活動などで、地域住民ならではの経験をいかしたゲストティーチャーや学習支援・安全支援等を実施している。

マラソン大会の走路の安全管理と立哨は、ボランティアですべて行っており、試走を含めて3回のタイム測定が実施できている。ただ、現在利用している中高学年のマラソン大会のコースの一部が道路拡張事業と重なり、次年度以降のマラソン大会のコースや実施できるかどうかについては今後の課題である。

■ 実施に当たっての工夫

平成13年に発足したボランティア「三弓会」を母体に伝統的な支援活動を継続している。「できる人が、できるときに、できることを支援する」「人から強制されるのではなく、自発的意思に基づいて行う」「先生や子どもと一緒に活動し、学校をよりよくしていく活動にしよう」「ボランティア自身の経験や専門性を活かそう」という考えを基本に、少しずつ支援の輪を広げながら活動を続けている。今年度も学校の方針通り、子どもたちの体験活動を実施すべく、支援を続けてきた。

毎月定例のボランティア会議では、学校から提案された支援計画をもとにして、参加者等を決めている。実施した活動について反省を出し合っている。また、2～3カ月先を見通して参加者を募っている。今年度も学校だより等を利用し、ボランティアの参加を募りボランティアの輪を広げる取組も続けていく。

■ 事業の成果

地域の方々の専門性や技能を生かした支援や安全への配慮をしていただき、豊かな学習活動を展開することができている。また、地域住民が学校の教育活動に関わることで、地域の絆が深まり教育力が向上し、郷土愛を培うことにもつながっている。

子どもたちは、ボランティアの専門的な知識や技能に触れたり、多様な体験の機会を得られたりすることによって、学習意欲が喚起され、自ら問題を解決しようとする意欲を高めることができている。ボランティアの方々とも顔なじみになり、親しみを感じながら感心して活動している。

子どもたちの学びを感じながら、蒲生東小学校の地域の資源や教育力をいかした特色ある教育活動の推進に寄与していることが、ボランティアの誇りでもあり、郷土愛を高めることにもなっている。

恒例となっている活動への支援については、参加されるボランティアの方々の内容をしっかりと把握して参加され、ボランティア会議で振り返りを行い、次年度の活動に生かすという流れができている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の良さを感じながら作り上げられてきた蒲生東小学校の学習活動を継承するため、新しいボランティアの参加や育成、ボランティアに求められる新たなニーズへの対応が課題となっている。毎月のボランティア会議への参加は難しいが、できるところで支援したいという方がおられると考えている。広くボランティアを募集できるシステム作りが期待される。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

昨年度より学校運営協議会が立ち上がった。この活動がさらに発展できるよう、コミュニティセンターやスポーツ少年団、PTA、民生委員児童委員等の地域で活動されている方と連携を深める大変貴重な機会となっている。



【マラソン大会の立哨】



【3年生 まちたんけん】

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

- 校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）
 報告書記入者（蒲生東小学校地域学校協働本部長）

蒲生の子は蒲生で守り育てよう

| | | |
|---|--------------------|--|
| 東近江市 | 活動名：蒲生西小学校地域学校協働本部 | 蒲生西小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：27人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 □学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- 「蒲生の子は蒲生で守り育てよう」というキャッチフレーズのもと、児童は地域の一員であることを念頭に、学校からの要請を受けて活動している。児童の下校時には、各地区の方々により「下校見守り」を継続的に実施している。
- 「田んぼの学校」や「総合的な学習の時間」の取組では、学校支援ボランティアに協力してもらい学習指導をおこなっている。また、地域の特性に応じたゲストティーチャーを招き、地域から学ぶゲストティーチャー授業をおこない、「ふるさと蒲生」を意識していく地域学習の場としている。このことで地域の教育力も高められている。
- 地域の方々の経験や専門的な知識・技能を活用する場を広げ、子どもたちとのふれあいを通じた地域社会全体の教育力の向上を構築し、地域の活性化に結び付ける。学校支援ボランティアも子ども、学校、すべてがWinWinな関係でいられるように意識して取り組む。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 2年生の生活科「野菜を育てよう」では、野菜栽培に詳しい学校支援ボランティアさんに種まきから収穫までの期間、長期にわたって指導・助言をいただきながら学習活動を進めた。学校支援ボランティアさんへ感謝を伝える「ありがとうの会」にもご参加いただき、子どもは相手意識のある活動に積極的に取り組んだ。
- 5年生の家庭科「裁縫・ミシン」の学習では、学校支援ボランティアさんに補助をしていただき、個々に応じた指導助言により技術習得の充実につながった。
- 毎週金曜日の朝学習において読み語りを実施している。学校司書と5名体制で各クラスにて読み語りをさせていただいている。

■ 実施に当たっての工夫

- 学校支援ボランティアを広く地域に募集し、応募いただいた方を中心に活動を行った。
- 年度始めに「ボランティア会議」を行い、活動の予定や活動内容の紹介、学校支援ボランティア同士の交流を図り、初めて参加いただく方にも趣旨等ご理解いただきながら、参加いただけるようにした。



【 5年 田んぼのこ 収穫感謝祭 】

■ 事業の成果

- 地域の学習を通して、地域理解が深まると共に、地域の様々な事象について学んでいこうとする態度が育ってきている。
- 昨今地域での関わりが減っているなか、学校以外の方（地域の大人としての学校支援ボランティアさん）との関わりが持てる機会として貴重な場となっている。



【 2年 野菜の種植え 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ボランティアの方の高齢化による負担感があるため、保護者や地域の学生の方へのボランティア募集を継続して行う。
- 地域に広くボランティアを公募し、継続して安定的な人材確保に努める。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域の文化・歴史・人を知り、ふるさとをもっと好きになろう

| | | | |
|---|--------------------|--------|---|
| 東近江市 | 活動名：蒲生北小学校地域学校協働本部 | 蒲生北小学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） ボランティア登録数：60人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

今年度は、『学校支援ボランティア募集』をどのような形で行うのかについて熟議を行った。児童の9割が新興住宅地から通っている本校は、地域との関わりが年々希薄になっている。地域の方々にとっても、学校の課業時間にはお勤めがある方も多い上、ここ数年のコロナ禍により、学校への敷居が高くなっているのではないかと考える。子どもたちにとってボランティアの方との関わりは、先生や家族以外の大人と接する貴重な時間であり、また関わりを持ってくださるボランティアの方にとっても、子どもとの関わりが、新しい学びや気づきに繋がる大切な取り組みであると感じている。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

<ふるさと発見学習>

2年生の生活科において、地域の公民館や農家に出向き、子どもたちから疑問を投げかけ、それに対して、丁寧に答えていただいた。また、コミュニティセンター館長を学校にお招きし、施設の使い方や住民への対応などの話を聞いた。

4年生の総合的な学習「日野川探検」では、地域におられる専門的な知識をお持ちの方から、日野川に生息する生きものの話を伺った。昨年見つけられなかった生物の発見などもあり、子どもたちがワクワクする時間となった。

<引き渡し訓練>

全校一斉での引き渡し訓練を行った。運動場の駐車場係や子どもを保護者へ引き渡すなどの役割を地域の方にお助けいただいた。前年度、学校運営協議会で熟議・検討を重ねた取り組みを生かすことができた。



【 2年生生活科
：まちのすてきはっぴょう会 】

■ 実施に当たっての工夫

学校運営協議会の運営については、参加者全員で、前もって時間の確認をし、参加人数の確保に努めた。

田んぼの学校の事業についてのボランティア募集については、事前に地域の自治会長へチラシを持っていき、来てくださる方を紹介してもらった。



【 4年生総合的な学習：日野川探検 】

■ 事業の成果

地域の方々各自が自分たちの学習のために時間を割いて来てくださるということは、自分たちが、地域にとって、とても大切な存在だと認識でき、自己有用感に繋がる大事な時間だと感じている。

また引き渡し訓練など、防災に関わって、地域の方に学校が行っていることを知ってもらっておくことは、いざという時に人と人の繋がりにも必ず役に立つと考える。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

『ボランティアを地域に呼ぶ』というよりは、『学校に地域の人を入れる・子どもと地域を関わらせる』という仕掛けがづくりを考えていくのが、今後の学校運営協議会の役割で、『防災』を通して、学校と地域が繋がれるような取組等について、今後さらに考えていきたい。また、『地域人材をどれだけ発掘できるか』、についても、本校にとって大きな課題だととらえている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

学校運営協議会で熟議を重ねたが、主となる取組があった方が運営が分かりやすいのではないかと意見もあったため、学校に関わる他団体（PTA・後援会など）と協働して、コロナ禍で立ち消えてしまった「通学合宿」や「防災キャンプ」の復活についても前向きに検討していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（教務主任）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

地域文化の継承、地域とのつながりをめざして

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名：玉園中学校地域学校協働本部 | 玉園中学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：6人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 玉園中合唱コンクールにおける八風太鼓の演奏
太鼓演奏が伝統となりつつある。本年度は、全校生徒から太鼓演奏を希望する者を集めて、演奏者を抽選で決定した。地域の先輩方に指導をしていただき、地域文化の良さを実感することができた。このことで、より地域との関係が深まり、地域の方とのつながりが深まりつつある。
- 部活動（ソフトテニス）の指導において、地域の方から専門的な技術指導をしていただいている。
- 地域の文化祭に生徒作品を展示し、学校での学習活動の成果を地域の方に見て頂く機会とした。
- 第1学年において、家庭科授業の一環として地域の方に着物の着付け教室を開催していただいた。



【 八風太鼓練習風景 】

■ 実施に当たっての工夫

- 協働活動推進員や地域のコミュニティセンターと連携をとり、実施可能な内容を検討し共有した。
- 校区内に在住する中学校教育に必要な人材（ボランティア）の発掘につとめる。

■ 事業の成果

- 地域コーディネーターを中心に、地域の伝統文化である八風太鼓の演奏が7年目を迎え定着している。本年度は、全学年から希望者を募集したところ、予想以上に希望者が集まったため抽選を行った。太鼓経験者は3名であったが、コーディネーターやボランティアの計画的な取組により、ステージ発表まで仕上げる事ができた。中学校と地域の関わりを実感できる取組であった。
- 部活動指導で、生徒が専門的な技能指導を受けることにより、主体的な姿勢が育った。
- 学校での学習活動を地域の方に見ていただく良い機会となった。
- 地域の方に学習活動の支援をしていただき、地域の方とのつながりを持つ良い機会となった。



【 地域の文化祭への生徒作品展示 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 「八風太鼓」の取組は7年目を迎え、生徒自身がより主体的に取り組めるよう、玉園中卒の先輩や地域の方が指導を行っている。地域伝統文化の継承、地域とのつながりを感じる点でも意義深い活動である。
- 現在のコーディネーターのように、学校の要望に沿った活動を支援していただけるコーディネーターの後継者が見当たらないこと。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（担当者）

報告書記入者（ 玉園中学校地域学校協働本部長 ）

学校と地域が一体となって推進する学校づくり

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名：聖徳中学校地域学校協働本部 | 聖徳中学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：16人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・学校愛や地域愛を育むために地域で活躍されている方と生徒との接点をどのように持つか。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ①図書ボランティアによる読み語りを4月から各学年に定期的に行っていた。
- ②朝の挨拶運動や聖徳中学校の日に参加していただいた。
- ③「聖徳中学校の日」
 - ・「聖徳中学校の名前の由来」について地域の方を講師に招いて母校愛・地域愛を育んだ。（1年）
 - ・地域で活躍されている卒業生の方を講師に招き、「夢は叶う～動けば変わる～」と題して講演をしていただき、この地域で起業した思いや夢を実現するために大切なことなどを学んだ。（全校）
- ④部活動支援は継続的にしていただいている。

■ 実施に当たっての工夫

- ①様々な行事について保護者・地域にも呼びかけ参観を募った。
- ②吹奏楽部は地域（各コミセン）等の行事に積極的に参加した。
- ③挨拶運動、読み語りは、計画的に実施した。
- ④「聖徳中学校の日」について、講師について十分に検討し実施した。
- ⑤生徒会役員が、地域で開催される「中学生と大人のしゃべり場」に参加し地域との交流を深めた。



【 聖徳中学校の日 講演 】

■ 事業の成果

- ①読み語りは、何年も継続して実施しているので、生徒の反応も良く効果は大きい。
- ②挨拶運動は、生徒会が行う日、PTAが中心に行う日、民生委員さんが実施して頂いている日（放課後）等活動が広がってきている。
- ③「聖徳中学校の日」は、生徒に母校愛や地域愛を育むことを願って始まり2年目であり、学校と地域をつなぐ一つの取組になってきた。



【 読み語り 】

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（部活顧問・事務職員）

報告書記入者（ 聖徳中学校地域学校協働本部長 ）

地域と学校が協働し、自然豊かな環境の整備を通して、持続可能な環境づくりを推進する。

| | | |
|---|--------------------|--|
| 東近江市 | 活動名：永源寺中学校地域学校協働本部 | 永源寺中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：4人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・生徒数の減少によるPTA会員数の減少に伴い、学校環境の維持が難しくなっている。
- ・校地内の木が大きくなりすぎて、落葉や落木による学校環境への影響が出ている。
- ・役員をしていただく方が高齢化し、新たな人材を見つけることが必要である。
- ・中学生が地域行事の司会を務めた。生徒の活動において連携を図ることは大切である。

校地内環境整備

- ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）のコーディネートによりボランティアを見つけてくださり、広大な梅林の剪定作業をしていただいた。
- ・地域コーディネーターが地域の会合で呼びかけをしてくださり、地域の方がボランティアで前庭の高木やアジサイ園の剪定・除草に来てくださった。環境面と安全面でとても助かっている。また、地域の方で自主的に校地まわりの除草作業をしてくださる方がおられ、地域の支援の温かさを感じている。

地域学習の講師招聘

- ・永源寺地区の歴史をよく知る方を講師としてお招きし、地域学習講座を実施した。永源寺のもみじ観光や愛知川の様子、中学校の成り立ち等について興味深いお話を聞くことができ、生徒は地域のよさに気づき、より身近に感じる事ができた。



【 地域学習講座 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・窓口を校長が担当し、教頭と連絡を取り合い、職員に連絡をした。
- ・活動の実施に際して、事前の打ち合わせを丁寧に行った。目的の共有や配慮を要すること、当日までの準備等について具体的な打合せをした。
- ・事務局を通じて、ボランティア登録をした。



【 ボランティアによる剪定作業 】

■ 事業の成果

- ・教職員のみでは技術的に困難なこともボランティアの方の力をお借りしてでき、立ち枯れしていて危険な木や、校舎に接して光を遮ってしまう木等を自前の機械で伐採していただいた。
- ・地域コーディネーターが地域の会合で呼びかけてくださったことで、地域の方に学校が困っていることが気軽に発信でき、また、地域の方から学校に対しての温かい声援があった。地域の方が学校に来られることで、地域に育まれている学校という意識が生徒と職員に育っている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・20年以上前に植えられた木が育って、素人には手が付けられなくなっていることから、今後もボランティアさんの協力を得ながら、10年先を見据えた環境整備を継続する必要がある。技術を持った方が少なくなっている。
- ・生徒数の減少により学校職員の数も減り続けることから、持続可能な環境づくりを考えていかなければならない。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 永源寺中学校地域学校協働本部長 ）

自分よし みんなよし 未来よし でつむぐ地域との連携

| | | |
|--|--------------------|--|
| 東近江市 | 活動名：五個荘中学校地域学校協働本部 | 五個荘中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：16人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（まちづくり協議会）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

今年度より学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールがスタートした。五個荘中学校の様子や生徒の様子を伝え、より良い学校にしていくために、地域に開かれた学校の在り方等について協議をした。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

① 「五個荘地区総合防災訓練」に多くの生徒が参加

8月26日（土）行われた「五個荘地区総合防災訓練」では11の訓練ブースが設けられ、参加生徒が多くの訓練を体験した。いざという時のために、地域の力になれるように、生徒も積極的に訓練に参加する姿が見られた。

② 「五個荘ふれあい広場」に係る環境整備活動

10月21日に開催された「五個荘ふれあい広場」に向けて駐車場となるグラウンドの除草作業と中央公園の美化活動を地域の方と行った。また、「ふれあい広場」当日も福祉委員の生徒が模擬店のスタッフとして参加した。



【 総合防災訓練の様子 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・「総合防災訓練」ではできるだけ多くの体験ができるように、学級ごとにスタートのブースを分散させた。また、スタンプラリー形式にすることで生徒たちも楽しみながら多くの訓練ができた。
- ・草刈り機を使って除草して下さる場所と、生徒が除草する場所を区切ることで安全に作業が進められた。

■ 事業の成果

総合防災訓練に多くの生徒が参加することで、地域の方と触れ合う機会が設けられ、生徒自身の防災への意識と地域貢献の意識が高められた。

グラウンドや中央公園の整備作業では、地域の一大イベントの準備に携わることで生徒も地域とのつながりを感じ地域のイベントの運営について知ることができた。



【 グラウンドの整備作業の様子 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校の教育活動において生徒が地域とつながりながら活動をするは大変意義深いものであると考えている。またコロナ禍が明け、活動できる内容が戻りつつある中で、生徒にとって有意義な活動になるように内容を吟味する必要がある。今後もぜひ地域とのつながりを意識して活動を継続していきたいと考えている。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

今年度から五個荘中学校でも学校運営協議会が設置された。学校保健委員会に学校運営協議会の方々や生徒も参加し、「生徒の健康」について語り合う機会を設けたり、授業の参観もしたりしていただいている。また、五個荘地区は、青少年育成に関して熱心な地域で、普段から多くの地域の方々に学校生活や防災学習等の行事に協力していただいている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（主幹教諭）

報告書記入者（教頭）

地域ので、ふるさと愛東が好きな愛東中生を育てよう！

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名：愛東中学校地域学校協働本部 | 愛東中学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：8人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- 地域の素晴らしい自然、歴史、産業、取組、施設等を知り、愛東が好きな子どもたちを地域と学校が協力して育てていく取組を進めた。
- 「総合的な学習の時間」において、地域の人、もの、事業所、施設を活かした地域学習、環境学習、平和学習、職場体験学習、福祉体験学習を実施した。
 - 部活動のボランティア活動として、地域の方々と協働して歩道の花植えなどを実施した。また、保育園でのクリスマス会を企画運営した。
 - 「愛と夢のつどい」で、生徒代表3名の作文発表と生徒会による司会を行った。
 - 家庭の授業で幼稚園での保育実習を行った。
 - 地域コーディネーターの声かけで、雄飛園の剪定を行った。
 - コミセン実施のイベントに生徒がボランティアとして参加した。



【 保育園でのクリスマス会 】

■ 実施に当たっての工夫

- 学校の情報と地域の情報を交流し、入念に打合せをした。
- 不定期ではあるが、コーディネーターと校長が話し合いを持ち、学校の困っていること、地域が学校に望んでいることの情報交換を行った。

■ 事業の成果

- 学校やPTA活動ではできない環境整備ができた。
- 生徒も地域の一人としてボランティア参加し、地域活動の意義を学ぶことができた。
- 全学年で、ふるさと愛東に関わる「総合的な学習の時間」の授業実施により、生徒たちに郷土愛が芽生えるとともに、地域の方々に生徒の様子を見ていただいたり、学校の学習内容を理解していただいたりすることができた。



【 雄飛園整備 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 学校行事や部活動との関係から、日程調整が難しい。
- 学校だより等で学校の活動について発信・周知しているが、コーディネーターと連携して、部活指導やゲストティーチャーなどに携っていただける地域の人材を発掘していきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

生徒達の活動の様子は、メール配信アプリ「コドモン」（保護者向け）で、発信している。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

地域コーディネーターを中心とした地域人材による学校の環境整備

| | | |
|--|--------------------|--|
| 東近江市 | 活動名：能登川中学校地域学校協働本部 | 能登川中学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：29人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

学校運営協議会という組織がないため、熟議された内容は特にないが、例年、学校行事支援や部活動支援、学校周辺の環境整備などの活動に取り組んでいる。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

1. 学校周辺環境整備

校地内の草刈りや剪定作業をしていただいている。地域コーディネーターの呼びかけで、毎回4～10人程度の学校ボランティアの方々が作業分担当場所を自分たちで確認し、1～2時間程度の作業を行ってもらっている。PTA奉仕作業と合わせて、校内周辺環境整備に努めてくださっている。



【 校舎周辺環境整備 】

2. 部活動支援

今年度は、柔道部と女子ソフトテニス部の指導にあたっていただいた。技術的指導のみならず、礼儀やマナーの指導など、スポーツを通して「心・技・体」の育成に尽力いただいている。柔道部に関しては、近畿大会出場、全国大会出場など好成績を収めることができた。部活動環境を整えてくださっている。



【 部活動支援（近畿大会の様子） 】

3. 学校行事支援

入学式や卒業式といった儀式的行事の時に、保護者の家用車を止めるだけのスペースが本校にはない。そこで毎年、グラウンドを駐車場として開放している。式当日は教職員もそれぞれの役割分担があるため、駐車場誘導や交通整理に立つことができない。そこで、5名程度の学校ボランティアの方々に来ていただいて、その任にあたっていただいた。

■ 実施に当たっての工夫

地域コーディネーターの方と学校とが事前に「いつ」、「どのような内容を」、「何人で」という点について事前に打合せを行い、地域の方々と本活動について見通しを持った。また、部活動支援については、顧問との連携を密にしながら日々の指導にあたっていただいた。

■ 事業の成果

事業の成果としては、教師の負担が軽減されることで教師と生徒との関わる時間が増えたことである。また、部活動支援については、前述のとおり、近畿大会出場、全国大会出場と好成績を収めることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

生徒と関わる場面が部活動支援に限られているため、日常の学習活動の中で生徒と地域の方々に関わる場面が展開できていないこと。

地域コーディネーターの方と活動の見通しを持ったとは言うものの、目指す学校像や学校教育目標を共有化するという点が不十分であったこと。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）

地域ので心豊かにたくましく育まれる蒲生の子どもたち

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 東近江市 | 活動名：朝桜中学校地域学校協働本部 | 朝桜中学校 | 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人（兼務1人） 協働活動支援員：4人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 [] | | | |

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

部活動支援

- ・外部コーチ（協働活動支援員）の方に来校いただき、剣道部、サッカー部、バレー部、コンピュータ部の指導をしていただいた。



【 剣道部の指導の様子 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・部活動顧問と部活動支援員との情報共有の実施
- ・専門性を生かした指導と練習メニューの作成補助、顧問のサポート

■ 事業の成果

- ・優れた指導により、技術面はもとより、精神面においても生徒の能力が向上した。
- ・能力が向上することで、部員一人一人に自信が芽生えた。
- ・大会遠征時の支援により、安全が確保され安心につながった。



【 コンピュータ部の大会参加の様子 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・指導の時間がさらに確保できることが望ましい。
- ・働き方改革を踏まえて、さらに多くの部活動において同様の指導が実施されることが望まれる。
- ・部活動のよりよい在り方を、地域・支援員・学校で継続して検討していくことが必要である。
- ・地域コーディネーターの方とは、様々な課題や今後の活動について指導や助言及びご協力をいただきたい。
- ・地域ボランティアの活用について検討していく必要がある。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（部活動顧問）

報告書記入者（教頭）